

丙

供覽

訓係官へ配布に代供覽  
情第八二〇號  
昭和十八年五月十一日  
配布先 局長 事務官

内務省  
管理局長 事務官

内務省

管理局長

監理課長 事務官

「新建設」送付ノ件

皇民奉公會發行ノ係「新建設」五月號（九部）迄御送

右及送付候也

監第341号  
18.5.27  
内務省管理局

天國

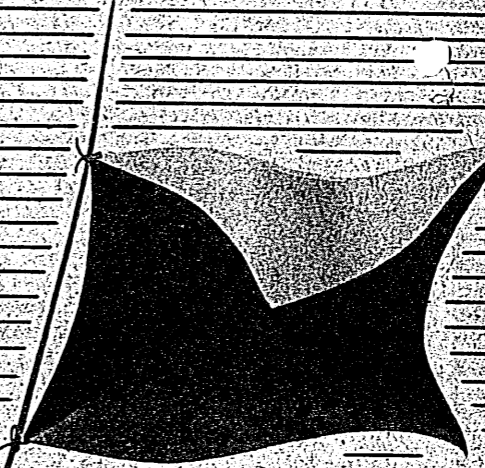
印

第五卷第二期・行發日一四一月毎・行發日四月五年八十和昭・可認物便郵種三第日五十月十年七十和昭

# 新建設

# 5

會座  
談  
帝  
國  
海  
軍  
魂

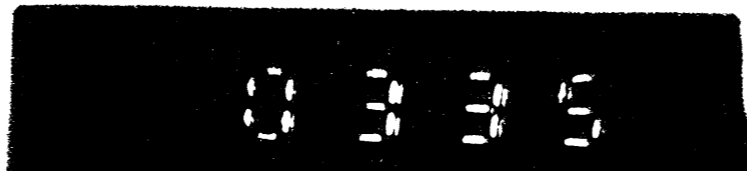


定價15

會公奉民皇

水 火 月 月  
金 金 木

REEL No. A-0509



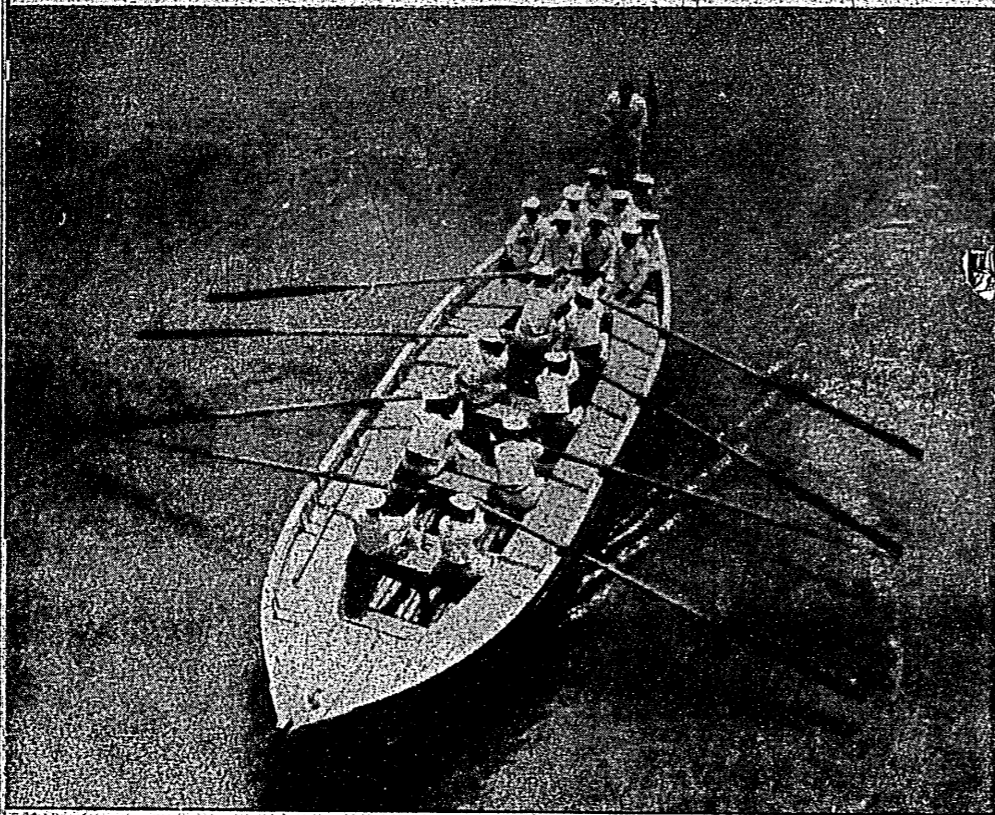
アジア歴史資料センター

# 海を招く 若人

皇民奉公會

海軍訓練隊を訪問

高橋 貞一・安部 公房



見よ  
海洋にみなぎる希望を  
敵へるもの、美しさを  
ふい、これらの中に  
燃えさがる  
逞しい日本の行手の光と

## 島民歌 米英撃滅の歌

大野 峰人 詞  
山田 耕 曲

並足に合して 敵く力強く

一 打て、撃て、敵を、米英を  
起て、一億の同胞よ  
大西洋の兩岸に  
世界の制覇争ひつ  
作戦に臨む吸血鬼  
米英を撃つ時は来ぬ

二 打て、撃て、敵を、米英を  
起て、一億の同胞よ  
敵が無備の要害より  
わが大東亞十億の  
友をば救ひ共榮の  
基礎築くべき聖戦に

三 打て、撃て、敵を、米英を  
起て、一億の同胞よ  
敵の反撃何かせん  
降魔の劍、破邪の太刀  
諸手にふるふ神兵に  
刃向ふ術のあらべじや

四 打て、撃て、敵を、米英を  
起て、一億の同胞よ  
かの人間の吸血鬼  
天に代りて誅戮し  
利樂の光輝ぐまで  
録收すべき軍かは

（皇民奉公會監製）

### 米英撃滅の歌

一 打て、撃て、敵を、米英を  
起て、一億の同胞よ  
大西洋の兩岸に  
世界の制覇争ひつ  
作戦に臨む吸血鬼  
米英を撃つ時は来ぬ

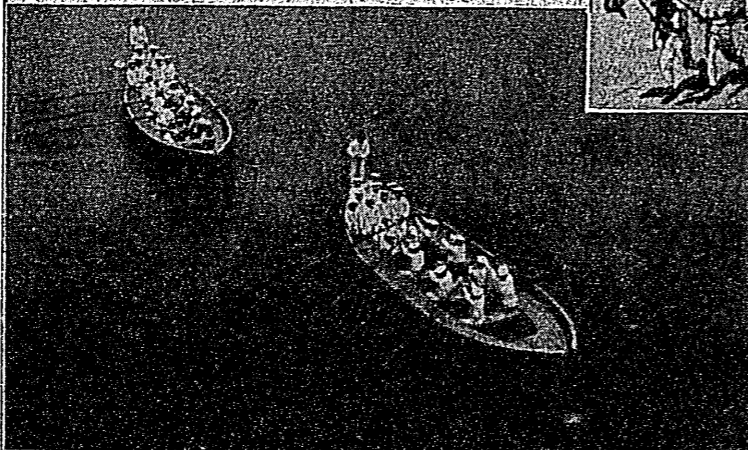
二 打て、撃て、敵を、米英を  
起て、一億の同胞よ  
敵が無備の要害より  
わが大東亞十億の  
友をば救ひ共榮の  
基礎築くべき聖戦に

三 打て、撃て、敵を、米英を  
起て、一億の同胞よ  
敵の反撃何かせん  
降魔の劍、破邪の太刀  
諸手にふるふ神兵に  
刃向ふ術のあらべじや

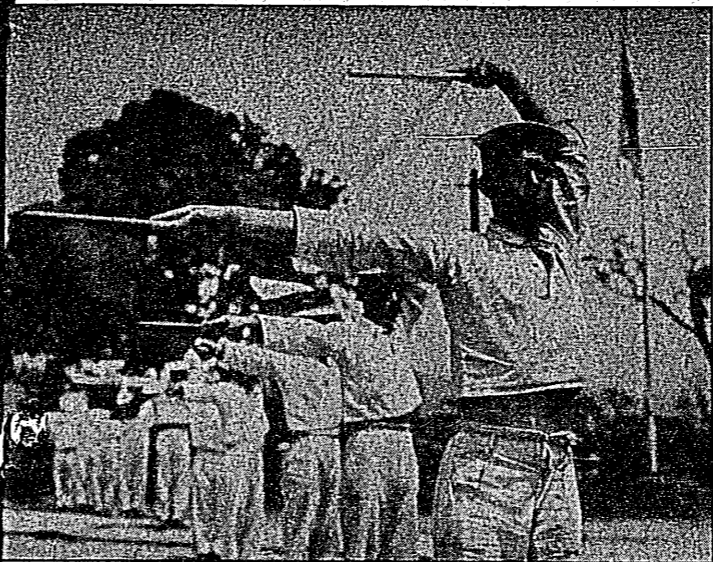
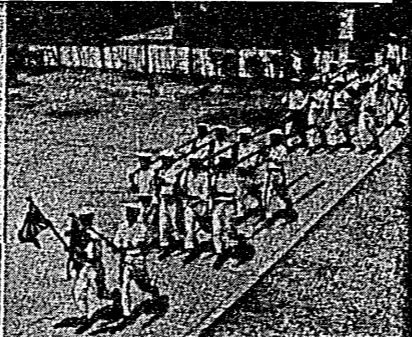
四 打て、撃て、敵を、米英を  
起て、一億の同胞よ  
かの人間の吸血鬼  
天に代りて誅戮し  
利樂の光輝ぐまで  
録收すべき軍かは

（皇民奉公會監製）

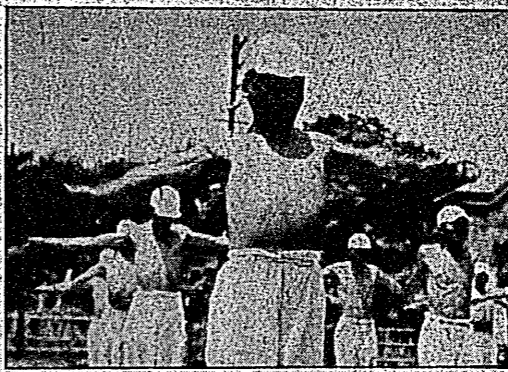
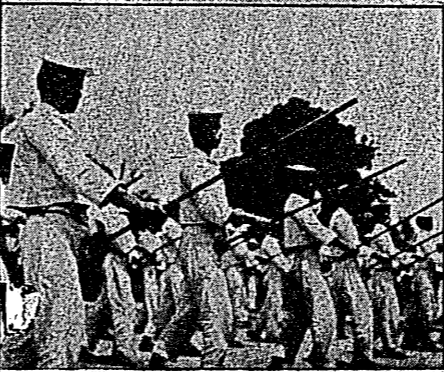
訓 隊  
命生の等我は爲敢極積  
んらなと石礎の亞興てつ誓



現在訓練中の隊員は去る四月一日に入隊した第三期生四十八名で本島人少名高砂族二名も加はつてゐる訓練期間は三ヶ月、隊員は純白の海軍作業衣の制服も揃へしくたくましく訓練にいそしんでゐる。

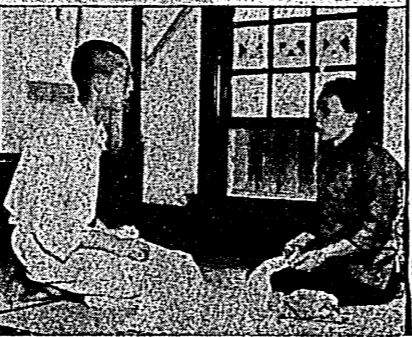


今更かし、南方の豊果に應へて、海洋に青春を流すの意が強いが、わが皇國公団に於ては、昭和十七年四月、早くもこのわが南方發展に即應して本島青年に對し、南洋進出の準備を整へ、南洋國民たるの素養を養成すると共に、進出の準備を整へるため北川島に閉り、南洋進出の準備を整へる。

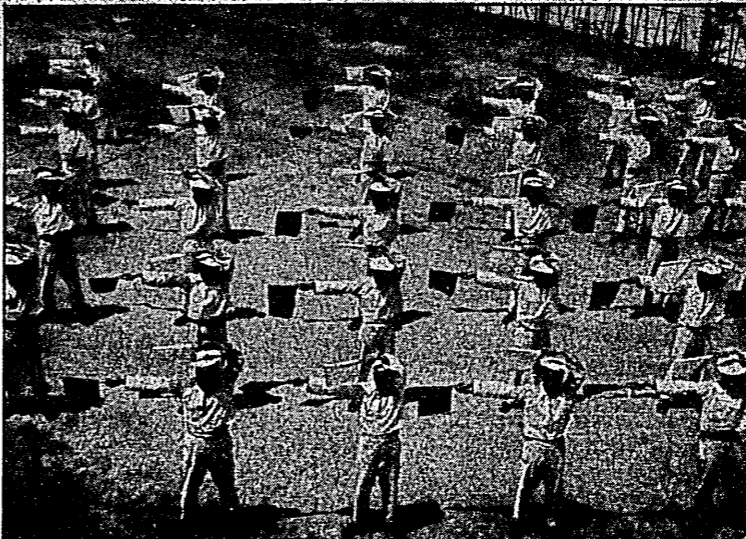


【訓練場】上より隊旗を先頭にオールを捲いで行進中の隊員、北條川に於ける訓練場、しんを捲いで力前、下、和かな面會風景。

【訓練場】山の上と、茶北市四山に海洋訓練場を建設し、既に二名に近い修了者を、南方發展に、あつたは船員、工場の工員として送り、その成果については多大の期待をかける。



【訓練場】上より手紙信箋、中左、仕立、中右、海軍訓練、下は手紙信箋。





四、三第、區分七第目丁一町府在上市北臺・上【明義興業】  
 一、二第、區分五第町廣末市北臺・下、台常念記の班公準  
 るけ於に會常念記同合班公準四十二、三十二、二十二、  
 演賣居芝紙のんさ千找山岡

**念記**  
 皇民奉公運動が著々しく發足してから早くも二年  
 を過ぎ、その第三周年記念日に當る四月十九日には、  
 皇民奉公班が一齊に「念記奉公會」を開會し、我  
 等の奉公運動「ゆれらの奉公班」が今日に至つた  
 ことを前に「節制奉告」し、奉公班が二歳強となりて  
 奉公運動第三年に突入してゆく覺悟を新にしたのである。  
 この日、各奉公班ではラジオが發する「節制奉告」に又々奮  
 に打撃し、決意新々たる胸に響く「奉公班の隊」に期す  
 して皇民の一大合唱となり、全會の團々まで、響きわたつた  
 のである。

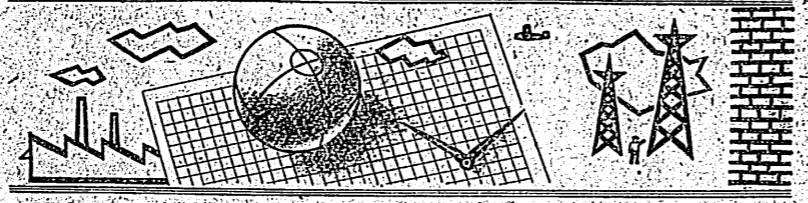
**戦争の形式變る**

海上における戦争の形式や實況は、真珠灣  
 以來、大きな變化を見せて來た。前から日本  
 太平洋戦争として豫想されてきた南國大艦隊  
 艦隊の一大會戰などといふものは、今のところ  
 全く想像もつかない。  
 アメリカが、日本の先へ突き出してある  
 た相場の大きな脅威、それは云ふまでもなく  
 ハワイに本據をも采國太平洋艦隊であつた  
 が、日本空軍は、これを真珠灣頭に急襲し、  
 數時にして物の見ごとく撃滅して去つた。又二  
 日おいて、昨年十二月十日には、マレー東  
 海岸でイギリスの新鋭不沈艦プリンス・オブ・  
 ウェールズを「脚にして轟沈してしまつた。  
 それからいふものは、大東亞戦争を中心に  
 陸海軍の戦局は「空軍第一」に變つて來た。そ  
 してこの大事實をはずり世界に示したのは  
 實に精鋭における帝國海軍であり、あの新艦  
 隊にして帝國空軍の威力と眞價とは忽ち全  
 世界を驚愕させた。

艦隊などは、相手の空軍に取つては常に大き  
 た「餌」であり、敵軍の目標になつてゐる。  
 だから新艦隊で防空設備が極めて優秀なも  
 のであつても、若し「たがひ相手の空軍に発見  
 されたならば、敵空軍から襲ひかゝつて、何  
 ほどの損失を求めればやま、若干の被害  
 は到底免がれない。  
 × × ×  
 そこで表を見せない海中の潜水艦に、新し  
 い使命や任務が生じて來た。最前線への機雷  
 や相船、或る程度は潜水艦を利用するとい  
 ふ考へ方が既に示されて來てゐる。さらに今  
 日の空軍の猛威を海上である艦隊では防ぎ得  
 るやうな「海面上の軍艦隊」と云つたやうな  
 新兵隊も、將來は現はれて來ねばならぬとい  
 ふ要理もある。  
 × × ×  
 しかし、それだからと云つて大艦巨砲が、  
 古銅なる鐵の值打しか持たなくなるなど早  
 急廢止してはならぬ。戦争の形式は、常に敵  
 の出方を情勢によつて變つていかなければならぬ  
 のだから、海上の大艦隊も、それが大いにモ  
 ノをいふ時期が何時來るかも知れぬからだ。

**新建設 目次 (五月號)**

- 表紙カット 臺灣皇國海軍奉公團
- 【皇國海軍】歴戦の勇士は 語る帝國海軍魂
- 時局解説
- 【特選】健民を創る
- 來朝丸沈没事件の真相
- 【昔の經濟學】算盤からハンマーへ
- 防空讀本 水 源 吉
- 防空讀本 車馬 勝三 英
- 托鉢回禮歌
- 產業奉公會とは 加藤嘉久二 露
- 臺灣農村を見學する
- 部落奉公の經驗 津田 光造 天
- 【現地報告】戦上港北部落
- 決戦下の澎湖島 山口 正明 兵
- 新建設同覽板
- 五月常會申合事項
- 奉公手帳
- 家庭の頁
- 奉公川柳
- 決戦體語





# 鏖戦の勇士は語る 帝国海軍魂

【坂口支部長】一寸御挨拶申し上げます。皇民奉公會本部の主催と致しましては、本部から事務局長が宣旨部長が参りまして御願ひ致す處でありまして、事務の都合上どうしてもこれがないといふことでもありません。私は地元支部長でありますので代理を致す次第であります。此の島崎大佐殿始め皆様に対しまして海に申渡さないと存じてをります。本座談會の目的は中央本部の機關雜誌「新建設」で

五月二十七日海軍記念日に因みまして特輯號を出すことになり、此の座談會を中心と致しまして帝國海軍の輝かしい傳統と原容を讀者大家に再認識徹底せしめ、また必勝の信念を益々昂め併せて帝國海軍に対する私共國民の感謝感激の念を愈々新たにしよ、といふ事を期してゐるのであります。

本島では先に陸軍特別志願兵制度が布かれまして、醜の御禮としての自覺は青年層に於いてはもとより一般大家の間にも少なからず昂められ、國土防衛の思想も廣くゆき互ひつゝありますが、南方前進基地とし

て、また沈まぬ航空母艦と謂はれてをります本島に於いて、海軍への認識を深めるといふ事はまた極めて重要なことであると考えざるべきであります。全島の奉公班の贖物である「新建設」が此の座談會を開きました趣旨の第一は此の處にありま

皆様は實戦の體驗をお話し願ひまして、その御芳告の間に遠く出ます處の帝國海軍傳統の強さと近代海軍の深刻なる様相等を窺ひ知ることを得まして、近代海軍が如何に變りつゝあるか制空制海權の實相はどんなものか或はまた敵アメリカ、イギリスの反攻ぶりはどうか、其他全般に互ひりましてお示しを願ひ、結論と致しまして未曾有の消耗戦建設戦である大東亞戦争の意義と實相を深く體感することによりまして、吾々統後國民が如何に敵愾心を昂揚し、必勝の信念を培ひ、一方戦力増強、生産力擴充の一途を如何に邁進しなればならないか、といふことを明らかにすることが本座談會の第一の趣旨であります。

私自身非常不慣れでありまして、また殊に軍の方面の事が分りませんので、

## あれは天佑神あり

## 兵を動かすは神あり



事知口坂

先づ實戦にお出でになりました方々を特にお集り願つてゐるのであります。實戦の種々な様相をお話し願ひたいと存じます。その後で大きく結論に導いて頂くやうに、島崎大佐殿に御指揮を願つたが適當と思ひます。宜しくお願ひいたします。

### 奇妙きてれつ 摩訶不思議

【島崎大佐】種々實戦の話といつても分りませんが然し私は斯う考へてゐる。恐らく實戦の座談會を開いてもこれだけの顔觸れが揃ふことはない。それで喜入君が来た時に私に何か書い



佐大崎島

てくれといふことであつたが、私はそれはまだく偉い人がゐるから其の偉い人に頼んだがよい。それよりも戦争の断片の話をした方が餘程よい。實戦に行つた人が澤山ゐるからその人達を集めてあげようといふわけで、昔くことを辭退して此の座談會を開くといふことになつたのであります。それはさういふ事情でありますから、先づ私から口火を切ることにせませう。私の任務を申し上げますれば、私は十二月八日の午前一時頃からマライ作戦に参加した。〇〇攻略戦に参

い。それは、實際日本は兵を動かさば必ずこれ神兵である。さうして日本の國は神の國である。といふことを感じた。諸君もさう考へるだらうと思ふ。これは理窟ぢやない。眞實に宗教的にさう感じた。これは眞實に僕の信念である。此の信念を誰が来て僕に反對しようとしても出来ない。今迄吾々はいろ／＼の人に訓示を受け、天佑神助によるといふ事を聞かされたが、あの十二月八日の朝敵を撃ち破つて生命のやり取りをした時に、天佑神助によるといふことを心から感じた。此の感じは何かと申しますと、僕は七月六日に〇〇沖で〇〇方面攻略の陸軍

部隊を引つづつて行つた。當時は水雷戦隊旗艦の艦長だつたが、あの十一月六日の午前十時に敵の飛行機は僕の上に来て待つてゐる。さあこれを射つべきか射たざるかといふ事である。これを射れば日本は開戦したといふ事になる。これを何にも無視に打たせしに射ち落すだけの自信は無い。戦つてを待つて、これ

- 座談會出席者
- マライ方面作戦 島崎大佐
  - ハワイ方面作戦 本田大佐
  - 南洋太平洋方面作戦 鈴木大佐
  - セレンス方面作戦 堀内中佐
  - ヒロピン方面作戦 佐久間中佐
  - ジャワ方面作戦 石川少佐
  - 南洋太平洋方面作戦 菅井少佐
  - ハワイ方面作戦 甲斐大尉
- 本座談會 坂口高州支部長、川支部副座談會長、喜久副員その他  
時 四月十日夜 處 〇〇海軍俱樂部

した。七日の日没位置が... 七日の日没位置が... 七日の日没位置が...

吾れ奇襲上陸に成功せり

太閤さん聞くなつてくれ。十二月七日の日没... 吾れ奇襲上陸に成功せり

燈がびつたり止ると同時に... 吾れ奇襲上陸に成功せり

の十二月八日午前の戦も... 吾れ奇襲上陸に成功せり

隊長殿果してハワイにをりますか！... 吾れ奇襲上陸に成功せり



本大田

け全員が張り切つてゐる。その時内心では... 本大田

すか、安心を通り越してが... 本大田

「本田大佐」どうかア... 本大田

Advertisement for 'White Hair Oil' (白本香油) with a portrait of a man and decorative text.



### 大詔奉戴日の歌

矢野峰人

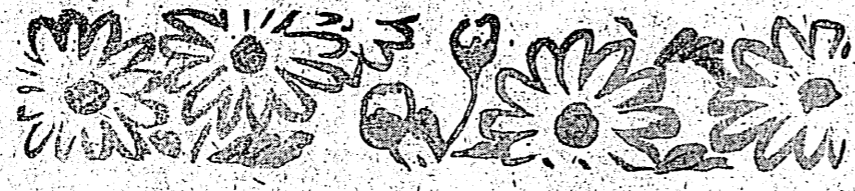
一  
今日は大詔奉戴日  
米英打てと宣うた  
師走八日の感激を  
孫子の世まで忘れまい

二  
この血この手で書き綴る  
世界秩序の新歴史  
よくぞ日本に生れたと

三

御代萬歳を唱へませう  
だが戦争はこれからだ  
負けてはならぬ長期戦  
覺悟新に唱へませう  
日本帝國萬歳を

四  
今日は大詔奉戴日  
勝つて胃の絡をしめる  
銃後の意気も高らかに  
さア唱へませう萬々歳



### あ、兩翼がついてゐる!

〔佐久間中佐〕 私の隊はヒッピン島の爆撃です。十一月八日は朝六時に出発するといふ事でしたが、その朝は霧が二つばいでした。三時になつたら準備が出来た。だらうと思つたが、四時五時、六時になつても駄目です。ハワイ攻撃の電報は既に來てる。これでは敵が先手を打つてやつて來ると思ひました。此方は皆んな爆弾を二つばい積んで並んでゐる。もし敵が來たらと思つてあれ位心配したことはありません。七時になつてもお陽さんが出る様で出ない。早く明るくなつてくれ……

〔島崎大佐〕 僕の場合と反対になつたか……〔笑聲〕

〔佐久間中佐〕 八時、九時十時……天佑神助は今度にはアメリカの方に行つたかと思つて眞實に怨んでますね。處が十時一寸過ぎてその霧が薄くなりまして、さあ此の時だといふ事で飛行機を出しました。續々と飛び登りました。もう安心です。その時は嬉しかったです。アメリカの奴來るなら來てみる。爆弾を落すなら落してみるといふ事で眞實に安心をいたしましたね。さうすると間もなく空襲警報、六十哩の所に敵機見ゆ。皆んな防空壕に押込んでからもう來るかと思つたが來ない。三十分、四十分経つても來ない。さうしたら今のは味方の誤りといふ事で、すつかり間違ひましたね。何方が先に來るかと思つた。まあ恐らくは刺違へるだらうと思つてをりました……

處が後で聞いてみると天

### 大編隊一路オアフ島へ!

佑神助は矢張り吾れにあつたのです。野郎どもは自分の飛行場の上に飛び立つてもう日本の飛行機が來るだらう、もう來るだらうと思つて待つてをつたが何時迄経つても來ない。その中に燃料がなくなつて日本の奴は案外臆病というて、地上に降りて並んでゐる時にどかんとやつたので、第一回は非常に効果がありました。

まあ此方の飛行機はあれだけ出したが、三分の一位生きて歸つてくれればよいが半分から三分の一生きて返つてくれるとよいが思つてゐると、ビユーと歸つて來る。兩方の翼がついて歸つて來る。またビユーと歸つて來る。無傷だ。次々に歸つて來る。數へてみると殆んど全部。これは可笑しいぞ、まさか敵の飛行機ぢやないかと疑つたが皆んな日の丸のマークである。嬉

〔本田大佐〕 こちらの飛行機が編隊を組んで敵地に向ふのを見送る時の氣持は何とも云へないですね。當時艦がぶつてくへ八日に果して出せるものか。それはそれは心配でした。今迄艦隊にをりまして航空母艦に揃へてあれだけの飛行機を一時に出すといふ場面を見たら事はありませんでした。傳書船が自分の巢を立つてその上空を廻り、目的地を定めて眞一文字に飛んで



行くやうに、母艦の上を廻りながら待つてゐる。順次に編隊を組みまして、一路オアフ島に向つて行く時の氣持といふものは、實際胸がすくすくした感じがした。

〔坂口支隊長〕目の前に浮んで来るやうです。〔川上中佐〕佐久間中佐に、出かけるあの勇姿を見て、第二回の歸りが遅くて心配しました。あれは間違って目標が一寸分らなかったでせうね。〔佐久間中佐〕さうで



佐 中 間 久 佐

す。すつかり夜になり、その上雲が低かつたものです。〔川上中佐〕〇〇に不時

一機の損害も甚大だ

〔本田大佐〕私はそれについて是非認識を改めて欲しいと思ふことがあります。世間では大本營發表を除き、見る向があるやう

若し助かつた勇士が庄長に向つて、自分は命はないと諦めてつたものが助がつた。これからは思ふ存分にやるのだと云つたさうです。兎に角斯ういふ人が眞の死生觀の超越が出来るのだと思ひました。

〔坂口支隊長〕ニューギニア、ソロモン方面を北はアリウシヤン方面でも目下激烈な航空戦が展開され、敵アメリカの反抗ぶりも必死奮闘なものがあ

に思ひます。敵の戦艦何隻撃沈とか飛行機何機撃墜とか。それに自爆何機未歸還何機と云はれるが、此の味方飛行機の損害を懸念して扱つてゐるといふ事に對して非常に遺憾に思つてをります。飛行機で敵の戦艦一隻二隻やつつけると非常に大戦果と思つてをられるが未歸還三つ、四つといふ事も大損害である。三機四機の自爆といつても、非常な損害であり、非常な犠牲である。それを精進や蚊と同様にしか考へない向がある。これは非常に遺憾であり遺憾なことである。近代戦に於いては假令一機と雖も大事なものである。一機能く制空権を握つて離さぬ場合もある。此の觀念をもつと強調する必要があるかといふ事を私は痛切に感じます。逆に一機でも敵計前線に送らうといふ氣持は此の氣持といふこととでなければ

はならないと思ひます。吾々は母艦から數百機飛び出して、あの母艦から何機飛び出したといふことを見張員は數へて知つてゐる。それが戦果を収めて歸



塚越正光選評

果立つ子も捷ら抜く御代へ御奉公

〔評〕機力戦の戦士として私法國民の誰一人でも遊んで居てはならない決戦下である。國民機材物資を卒業したばかりでも、立派な産業軍士として御奉公することが出来るのだ。捷ら抜く力はそこから生じて来る。句主 淡水街 許景龍

火の玉となつて戦場に闘む汗

〔評〕二億火の玉の如くは國家の要領に廻る國民の意氣である。戦場に闘む汗は軍に筋骨協のそのみではな

つて来る時も、何機歸つて来たか、何機着いた、何機着いたといふ事が分ります。さうすると差引あの母艦には何機歸つてをらぬ。莫大なる戦果を収めたといふ

その一人々々が全部この意氣であるのが勝つ決戦下の今日の心構へであらう。〔句主 苑理庄 陳朝龍〕

〔評〕もんへを穿くことを嫌がる女性に決戦下の今日一人も居ない。軍中の役所では女子雇員の制服化さへしてゐる。だが最初のうちは恰好の悪いのがあつたし、第一眼に馴れない點もあつたが、いつか戦時下の女性には、無くてはならない服装の一つとなつた。この様に新體制も私達の身についたものでありたい。

〔句主 金山庄 渡邊彌作〕

半面、あの母艦ではこれだけ犠牲者を出したといふ事で、非常に何とも云へない感じがした。それが、それ一般の世間の方が、それ程までに思つてゐないのぢや

接増産戦に携はる人達は力があるが、他の部面でも力を抜いてゐる人が居たら、威力にひびく入るのだ。〔句主 嘉藤市 林木根〕

〔評〕お小遣いを節約して献金することも勝つ後援の意氣を平らもので、殊にこれが軍需の心からなる行ひである。私達は胸がしびれる程の感激を覚える。だに國民財源を荒出出来ない大人があつたしたら、こともなから及ばないと言ふべきであらう。〔句主 茨北市 八尋聖〕

〔評〕聖恩に只感激す志願兵

ないかといふ事を考へると飛行機に對する心安さと情けなさを感じるのでありま

〔佐久間中佐〕唯だ未歸還五機といつても飛行機に

〔評〕日露戦争の當時と比べて、決戦下の私達の敵愾心は昂揚されてゐないと言はれてゐる。何故だらう。簡單にお互ひの心の中の米英が掃拭されてゐないからと片付けては置けない。私達はもつと判然と感するのだと自覚しなければいけない。その氣持で見れば然りと大空を泳ぐ艦のほりにだつて敵愾心は感じられるのだ。〔句主 茨北市 吉田つや子〕

〔投稿規約〕奉公運動に關する一切、眞實はがき一枚、三句既寄。締切毎月一日。翌月號に發着。茨北市新公館内。皇民奉公會中央本部新設編輯室宛

北川京久の歴史研究  
 尊い参謀の宮さま  
 南日本の建設  
 陸戦隊宣撫記  
 南方雄飛案内

新アジアの雄相  
 国防力の整備  
 南方への翹望  
 南方の華僑

要素であります。優秀な搭乗員を一人でも多く優秀な飛行機を一機でも増員して前線に送りねばなりません。

た。そこで出港用意で出港準備を整へまして、或艦に水を捕給して何時でも出られるやうになつてゐる時にイギリス機二機が雲の間から急降して来たので全速力で出港しました。敵の飛行機は三百米近くまで下りて艦の近くに爆弾を落して、一機は此方の對空射撃に恐れをなして慌てて、落

### 天佑神助を確信す



佐大木 鈴

た時、機械故障で修理に一晝夜かゝる。其處は敵の潜水艦も来れば、飛行機も来る。昨日失敗したから翌日は必ず来るに違ひない。併し五十哩の處にゐるから大抵いつ等は見つけ得ないだらう。案の定翌日またやつて来ました。處が幸にして五十哩離れてゐるから私の方に来なかつた。一晝夜敵の真中に漂泊してやつて来ず、何等の損害もない。これを以て日本は眞實に有難いお國であるといふ事を痛感いたしました。

た時、機械故障で修理に一晝夜かゝる。其處は敵の潜水艦も来れば、飛行機も来る。昨日失敗したから翌日は必ず来るに違ひない。併し五十哩の處にゐるから大抵いつ等は見つけ得ないだらう。案の定翌日またやつて来ました。處が幸にして五十哩離れてゐるから私の方に来なかつた。一晝夜敵の真中に漂泊してやつて来ず、何等の損害もない。これを以て日本は眞實に有難いお國であるといふ事を痛感いたしました。

といふことを深く痛感してゐるのであります。

「佐久間中佐」然しさういふ事を云ふと運命論者になるではないかと思はれるが、私は死ぬ時は死ぬ、生きる時は生きると思つて生きています。

ました。〇〇部隊を〇〇艦で敵の機銃陣地及強固な要塞に敵前上陸をやつた時ですが、吾々が其處にとつて入り込んだ時、敵側はこちらの威力に圧倒されて、盛んに射つて来るべき管のものが、あつてにらされて弾丸一つ射たす吾々を見やるゝといふ有様でした。上陸地の草つ原の下には地雷が隠されてあつて、それが草が枯れてそれが出てゐる。これが支那の戦争であるから、本當のジューパーリッシュ閉塞戦であつたらば、〇〇艦は蜂の巣のやうになり一人残らずやられたであらうと思つた。

### 艦長泣いて天佑神助を謝す

「甲斐大尉」支那事變の始めのことでありましたが、吳淞沖に三隻停泊してゐる時、これが初めての敵の爆撃を受けたが運よく當らずに済みました。八月十四日のことですが、三隻並んでゐる空爆には必ずやられる筈なのに、その時風がありまして偏流して當らずに済み

艦長は感極つて東の方を伏し拜み、涙をはらりと落して天佑神助を感謝したのです。

然し天佑神助とともに、帝國海軍傳統の猛訓練といふものも、忘れてはならない。ハワイであれだけの戦果をあげたといふ事も、何も偶然にあつたことではなく、それまでの血の流む様な訓練の結果である。運よく此の戦果をあげ得たことは、先づの争ひと信じてゐます。先ずや舊い人のやることは古い様に見えるが、そこに動かすべからざる信念があつて必ず學ぶべきものであります。

有難いと思つたことはなかつた。

部隊の輸送船を護衛して行きました。それでこちらは隊を集結して、輸送船を反轉させて、環ち合つたのが日没まで続きました。その時向ふは驅逐艦を撃沈され、巡洋艦には彈丸が當りメラメラと煙を上げてゐました。吾が方ばかり傷一つ受けません。これが第一の天佑神助です。

からは早く気がついて砲撃した爲良かったのです。これが第一の天佑神助です。其の日が暮れて次の日の午前一時頃、並の巡洋艦の中彈丸が當つた一隻、外四隻に出発しました。夜襲なら二つものものだと思つて魚雷を射つたわけですが、向ふも射つてくる。こちらの一番艦の射つたのが向ふの三番艦に、こちらの二番艦の射つたのが向ふの一番艦に當り、デ・ロイテルとジャワの二隻は天を衝く火柱と共に沈没。デ・ロイテルは向ふの聯合艦隊司令官が乗つてゐたのが沈没した。この時は向ふの艦の沈没で海が盛り上がるやうな感じがあつた。その次に當つたのがジャワです。これは旺んが水柱をあけた。残りの三隻巡洋艦ヒューストンとパース及び驅逐艦はスコールと間中に逃走してゆきました。



佐少 川石

「敵艦滅 殘敵零」

「石川少佐」私はスラバヤの海戦で天佑神助を痛感しました。それは二月二十七日のお遊少し前頃です。敵の巡洋艦五隻、驅逐艦九隻が長蛇の列を作つてこちらに近づいて来るところはジャワ島上陸の陸軍

それから其の晩、敵がスラバヤに逃げてからの午後八時でした。見張員が敵艦見ゆと云ふので見ると、望遠鏡の中に艦が半分程しか入らない程近く近づいて来てるのが敵艦でした。これは向ふが気が付かず、こ

それから三月一日の朝、この日は陸軍部隊がジャワ島に上陸した日です。...

この上は戦争が済んで本國の妻子の處に歸して貰ふより外に待つ事は無いと彼等は云ふ。...

んだと思つたら野郎生きてゐる。それはカナダの飛行少佐とかいふもので、...

妻に無事を知らせてくれ

（島崎大佐）僕は日本が何故戦に強いのかといふ原因を感じたのは、敵の捕虜を捉へた時だ。...

敵防禦陣の眞唯中へ降下

（佐久間中佐）メナドの話を二つ願ひたい。あれは敵陣地は知つてゐなかつた。...

（堀内中佐）完全を知つてゐたんですよ。...



佐中内堀

十一日大東亞戦下初めての海軍落下傘部隊でしたが、此の事に就いて如何にもこの自分がやつた如く大げさに話すと許されませぬ。...

自分が手帳頭に話するのには、決して本意ではありません。海軍落下傘部隊は一月をその間にメナドに降下した。...

た部下の精神力でありませぬ。一つに精神力である。吾々の方では更に空の神兵といふ事を云ひませぬ。...





ソンの土古訪問、あるひは駐土大使ヒューゲツセンとの密談、キプロス島に於ける英参謀長ブルックの重要談話、略會談等々風雲ならぬものあることは十二分察せられます。

【問】北阿戦線の終局、近頃の米英側の見透はしにまつて、今度は強引に土耳古を戦火の中に捲き込み、バルカン方面に第二戦線を結成しようとする前提とは考へられませんか。

【答】問題は土耳古の向背です。それと、一つはソ聯の立場、これは非常に複雑ですが、獨逸の夏期攻勢を阻止する意味に於ても、米英と共同戦線を張り、土を恫喝して反獨戦争へ駆り立てる感はあるものとみられはならぬです。ソ聯も、この夏の戦こそいよいよ

その死生存亡を賭する戦ひであることを諒つてゐるのだから、後は後のこととして一應は米英のバルカン進出を歓迎する理由があると思ふですね。

【問】英國の有力艦隊がブルタルから出港し、某方面へ向つたといふことは、土古問題、バルカン第二戦線問題と關係があるのぢやないですか。

【答】それはなんとも言へないが、チュニジア戦線でも航母による艦隊攻撃を是はじめたやうだから、或ひは一帯北阿戦線を終局に導くため、この方面へ出動したのかも知れません。

【問】どうも主客顛倒で貴下の方が僕より詳しく御承知のやうだから今度は僕が聞き手にならうか。

【問】人が悪いな？ 貴下は大東亞戦争と二大戦果

【答】そこで、最後に大東亞戦争の現段階に就て御伺ひしたいんですが、たね、ヒルマ方面の陸軍の戦果も、亦フロリダ島沖海軍の海軍航空部隊の戦果も一久しぶりて全く瀕死を下げたんですよ。

ヤートルなどが英議會でヒルマ軍回近しと豪語した後でもあるだけ、あの惨たる敗北は全く痛かつたらうと思ふですね。

【問】漢洲首相のカーチンが又悲鳴を擧げてゐますね。太平洋に於ける反獨軸軍は、いつも機会を失しては

危機を意味するんですかね。この二大戦果によつて、皇軍は漢洲に對しても將又印度に對してもいつてもその好む時に於て進軍し得る戦略上の主體性を確保したのだからカーチンの悲鳴は同時にマツカーサーやウエー

Advertisement for "Shirayama" (純シロヤマ) featuring a woman's portrait and text describing the product's benefits for health and vitality.

ベルの悲鳴と聞いても差支ないでせう。

【問】ルーズベルトは、北阿戦争を終つたら今度は積極的に対日反攻作戦を展開し、今年の中に日本本土に上陸作戦をやると云つてゐるやうですが。

【答】寝言もそのくらゐになると愛嬌があつていゝですよ。だが、ルーズベルトも本氣にさう信じてゐる譯でもあるまい。要するに、敗戦のデレかくしと動もすると反獨軸陣營から脱落しようとする重慶や漢洲に對するセステュアです。

のゆとりを生ずることになるでせうから、北阿戦線の如何によつては太平洋戦争も、より背烈な相鏡を呈することを覚悟しなければならぬですね。

【問】結局、北阿戦線も、バルカンの情報も、又東部戦線も大東亞戦争に直接間接に大きな影響を有つ譯ですね。

【答】さうです。日獨伊三國は、共同の敵と戦つてゐるのです。たゞ、その戦ひの場所が、東亞と相距ること遠いだけ、獨伊の捷利は日本の捷利を意味し、日本の捷利は又獨伊の捷利なのです。

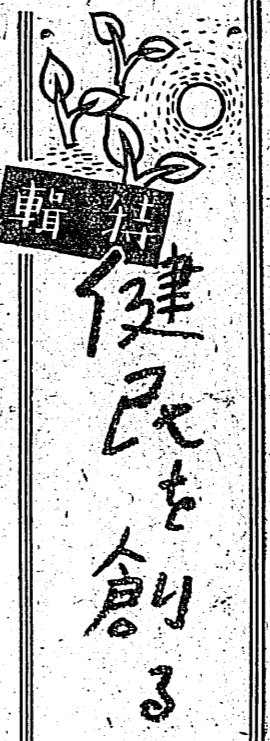
満天下の青少年諸君!! 今こそ 戦力増強、生産擴充の爲に

工業知識(實地に役立つ)を學び取れ!!

Advertisement for an industrial knowledge program with a table listing various fields and their respective numbers of pages or chapters.

東京、銀座一〇・五五、国民工業學院

# 民強くして



長期戦であり、しかも決戦の連続である大東亞戦争を勝抜くため國家は國力の總てをあげて、生産力擴充に、戦力増強へと逞しい奮進を續けてゐる。だが、戦力の増強も、すべて國民の一人一人が原動力なのだ。それには國民の總てが強い元氣な「健兵」でなければならぬのである。

それは現在、日本人の體はどうなのか、又今後どうあらねばならないか、臺北陸軍病院長大石一朗氏に、「健民對策」を訊く。

長期的に諸國を指導、鞭撻して陣頭に力を揮ふものは現在に於ても、將來に於ても我日本民族を措いて他にはないであらう。即ち一方に戦を餘儀なくせしめた敵國米、英、支を屠り、他方廣大なる共黨國を建設し之を扶掖、誘導して行く任務を背負ふ我等日本民族は、先づ其人的資質に豊富でなければならぬ。即ち丈夫で、元氣で、賢明で、其上壯の出来たる我等の第二世、第三世……を輩が上にも殖やして行かねばならぬのである。是れ近時健民運動の燃烈になつて来た所以である。

因の一は乳幼児の夫れであつて近時低下はして来たが其れでも英、獨、佛に較べ三倍に近い。原因の二は青年の結核であつて昭和十三年には人口毎一萬に就き二〇、七であつて、獨、英、露の三十五倍の高率を示して居る。本島では先年の徴兵検査及志願兵身體検査成績に徴するに菌を飛散して居る所謂開放性結核患者の半数以上が官廳、會社の事務員で又一割が國民學校の訓導であつた出であるが、結核撲滅の爲には是等の開放性結核患者を隔離、收容する療養所を一日も速く完備する事が必要であると同時に、他方體力錬成に努めて抵抗力の強い青年を育て上げねばならぬ。

茲に人口政策の有力な一方策として一昨年七月から優生法の實施を見るに至つたが、之は近時増加して来た精神病者や、盲者中遺傳性的な者を選別し、之に斷種手術を施して子孫に惡疾を遺傳する事を防止せんとするのである。

以上の様にして我々は素質のよい子孫を一人でも多く殖やすと同時に、之を錬成して立派な後継者をつくらねばならぬ。海軍の平出大佐は、「國民強うして兵強し」と喝破せられたが、洵に至言で、私も夙に之を絶叫して居た一人である。健兵、精兵も健民あつて初めて望み得らるゝのである。

健民對策として最重要な事は體力の錬成であらねばならぬ。即ち體格の向上を圖らねばならぬ。ガツンリとした頑丈な身體即胸圍が身長の上止る様な、又は體重(冠)を身長(冠)割つた商が三、三三以上ある様な身體を錬成によつて作つて行かねばならぬ。(一)作業力即疾走力、跳躍力、投擲力、耐力、荷重運力、



ある。即死亡率は大正九年を絶頂として醫學の進歩が

主なる動機となり年々低下して来たのであるが、肝心の出生率は是亦同年を頂點とし漸くせる文化の影響を受けて、爾後低下の一途を辿り現今に至つて居る。怖ろしい崩しといふのは此事實を指すのであつて、此傾向を今にして矯めなければ、我日本には若い人達が減つて生き延びた隠居者の老人達が增加して来るのである。而も死亡率の低下には一定の限度があるが、出生率の低下には制限がなきに於ておやである。斯の如き「青年のなき民族」、「老衰した民族」となる事を防止せんが爲、政府では一昨年一月閣議で人口政策確立要綱を決議し、昭和三十三年には我日本民族を一度にまで引き上げん計畫であつて、之れが爲結婚を奨励して其年齢を引き下げ、多産を奨励して之を保護せんとして居るのである。

日本民族死亡の主なる原因

肺活量、呼吸停止時間等の増大、呼吸数、脈搏数、運動後脈搏回復時間の減少を認めねばならぬ。(二)精神的に注意力の養成及反応時間の短縮、忍耐力即ち張り精神の鍛錬に努めねばならぬ。

是等體力養成のためには、其手段、方法即運動、武技に多くの種類があるが、之は、(一)其人に應じ過激に馳らない操縦隊が協力選定し、初めは容易な程度、種目から逐次其程度を高めて進め、行くと、事が極めて重要であり(二)成るべく費用や、仲間や、特殊な施設、訓練を要しないもの程一般に行はれてよい。例へば歩く事、走る事等は是れである。(三)栄養を補給する事、昔から仕

**民をつくり上げるには優秀な國  
政策に俟つ所が大きいのである  
が、それには國民が自發的に惡質**

「の遺傳を撲滅するやうに心掛け、  
良質の子孫を多く殖やすと云ふ」  
とは最も大切なことである。

人口問題に必然的に結びつく結婚問題——即ち優生結婚の正しい方法について、熱帯醫學研究所厚生醫學科室内院藤澤氏に訊かう。

今我々は皇國華國の理想に基いて、大東亞の建設に邁進して、あります。この時この大業を完遂せしめる根柢は我々日本民族の人口を急激に増加せしめ、且その素質の飛躍的向上を計る事に依る事實を深く感ずるのであります。

即ち人口問題と結婚問題とは密接不可分のものであり、いや寧ろ人口問題の前提をなすものが結婚問題であります。

皆さんの御承知の如く、政府は昭和十六年一月二十二日閣議に於て「人口政策確立要綱」を決定し、同日

一夫婦の出生見数は平均五人を目標として計置されたのであります。

ところで自由主義時代の結婚は、自己のため個人のためを眼目として總てを決定してゐたのです。即ち米英思想を基調として萬事行はれてゐたのです。

併し時代は日本國民は外來思想を洗ひ流して本然の日本精神に目覺する事を要請するのであります。

以下優生結婚の指導方針について少しく述べさせていただきます。

優生結婚の第一條件は一生の伴侶として信頼し得る人を選ぶ事であり、元來結婚の理想は圓満幸福なる家庭を作ること、心身共に健全な多くの子供を得ること、一家一門の繁榮を圖ることの三項目に要約せられねばなりません。それ故に舊體時代の結婚條件となつた家柄、財産、地位、



**連載 小説「青年の門」 立石鐵臣 畫**

學歴、容貌などの外見上の事柄は、新體制下即ち國家の隆盛を念願する時代に何等の價值もありません。要するに本人同志が心共に健全である事、血統が正しく、悪性の遺傳病を持たぬ事が何よりの好條件となるのです。

心身共に健全な人を選ぶ方法としてはお互に健康證、

この悪性の遺傳病は今日迄に相當発見せられて居ります。又將來其発見せられる可能性は大きいので、併し遺傳に對して正當な知識を持つて居れば何もさう恐れる事はないのです。かうした恐怖心を去り、遺傳に對する正しい認識を興へるために昨年から、中等學校の理科生物の時間に「遺傳と進化」「國民體位」の二教授要目が加はりました。

次に近親結婚は成るべく避けなければならない。血族結婚の可否については世上各種各様の説がありますが、血族結婚そのものには何も害はありません。要するに問題は本人同志が遺傳的に悪い性質を持つてゐるから、今日ではまだこの人はどんな遺傳的性質を持つてゐるかどうかを身體を検査して判定する方法が

發見されてゐないので、悪性の遺傳病は廣く表面に現れて來ない場合が多いからです。要するに血族結婚は出來るだけ避けた方がよいのです。但し今日迄に血族結婚をして何事も起らぬ例は数多いのですが、之れによつて害は無いといふ證明にはなりません。一言にして云へば、血統が遠くなればなる程危險率は少くなるといふのです。

最後に、成る可く早く結婚せよと云ひたいのです。人口政策の上からは早婚奨励を致しますが、あまり早

さて、優生結婚によつて、優秀な我等の子孫は母體に健全に育まれてゆく。やがて母親となるべき人達は日夜、我等子孫のために細心の注意を拂つてゐる。我々は、母性保護への關心を決して輕視してはならないと思ふ。

なか、その實際について、臺北帝大附屬醫院眞柄正直





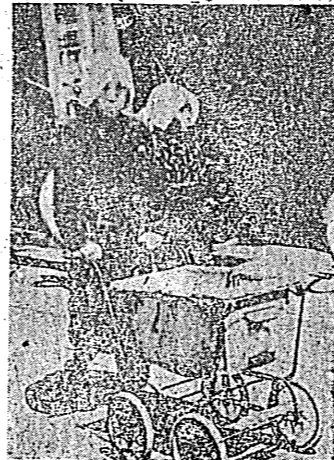
(を供子な全健く多もでへー)

教授に訊かう。

戦争を勝ち抜くために、又戦後の経営のために健民と云ふことは最も重要なことである。従つて健民運動を盛んにしてこの趣旨を徹底させる必要のあることも勿論である。こゝに二つ考へねばならぬことは健民運動の對象に就いてである。例へば母性保護の場合には多く母となる年頃の婦人のみを對象にしてゐるやうであり、乳幼児保護の場合にはこれまた、乳幼児を持つ

母親のみを對象にすることが多いやうである。これは勿論當然のことであるが問題はそれだけではないかと云ふことである。自分はもつと廣く一般大衆に呼びかけることが更に意味があるのではないかと考へるのである。

例へばこんな例がある。乙種醫師採用試験の時に、受験者に「母性保護と云ふ言葉が近頃さかんに使はれるがこれはなんのことかと云ふときいた所一人としてこれ



(子と母の下戦決)

を正解したものはなかつた。いくら乙種醫師にしては將來健民のことにたづさはらうとするものがこれでは困つたものと思ふ。かゝる方面を對象とする運動も必要なのではなからうか。またこんな例もある。昨年十月の母性保護を目標とした健民運動に際して皇民奉公會では吾々母性保護會と協力して母性保護に関する回覧板を出した。當時あつたか、妊娠中である婦人は別として、この回覧板を讀んだと云ふ人は極めて少いやうであつた。又その月の當會の諸合事項の一つにこの母性保護がとりあげられてゐたのであるが、ある常會では班長さんが「この隣組には妊娠はならないから、これは抜きにせよ」と云つたといひてゐる。こんな隣組はこれ一つではなく、その他にもまだ多数あつたと思はれる。一般大衆が

りなどして過重な労働をさせないやうにいたしませう」と云ふ項目がある。所がこの項目に關しては多数の悲劇があつたやうに聞かぬ。或る隣組では「私等は妊娠ではないが小さな子供があるんだ、妊娠だけ大切にする理由はない」と、いちめつけられた妊婦がたとか。又或る所では、かう云ふことを云はれるのがいやさに、妊娠をかくして率先して働いたために流産したものがあつたと聞かぬ。考へねばならぬことである。

乳児の發育には乳が必要なくべからざるものである。これは誰も承知のことである。ことに母乳が最良の栄養であるが母乳不足の場合には牛乳等を以つて補はねばならない。母乳のない時に、牛乳等の乳製品の手が困難とすれば、乳児を見殺しにせねばならぬこと、

なるのである。従つて牛乳或は乳製品の配給には當局に於ても充分な注意が拂はれてゐるわけである。例へば、母乳不足の場合には、醫師の證明により、派出所警官がこれを裏書きし、必要量を間違ひなく配給される規定となつてゐる。併しながら事實は屢々實行されてゐないのである。即ち時々全く牛乳の配給されない日があるのである。そんな日の母親の氣持と云ふものはたとへやうのないものである。併し次の日に配達に來たものに前日の餘價を以つてきつことと云ふことは禁物ださうである。それはこのために逆の効果を來し、益々配給が少くなるからさうである。ほんたうに牛乳が不足なのなら二本の所一本でも配つて呉れたら、と思ひます」と言つて訴へてゐた母親もあつた。併し不思議なことに月

末になつて牛乳屋からの請求書には全量配給になつてゐるやうである。これを聞いて自分の痛感したこと、乳幼児保護の宣傳は牛乳配達夫等に對しても亦必要ではないかと云ふことである。

要するに健民運動を行つて飛きたい。

優生結婚により授けられた優秀な日本民族の子孫は世の人の温い母性保護への眞情に迎へられて呱呱の聲をあげる。しかし、それからが又大切だ。病魔も襲へば、思はぬ災害もあるだらう。それを如何にして護り育て、ゆくかど問題なのである。

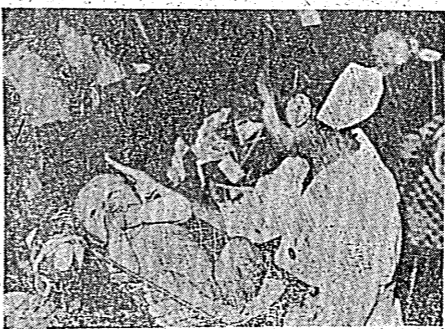
特に、複雑な食糧事情にある戦時下にあつてはそれは大切な問題で、現在乳幼児の地位はどうなのか、臺北大附屬醫院酒井潔教授に訊く。

直接關係のある一部を除けば、一般大衆は遠慮なから極めて冷淡であるものが多い。更に悪いことになることを利己に利用するものもあることである。これらのことがらを念頭において運動の方法を考へて飛きたい。

向つて努力が拂はれてゐる。之が我が邦の人口問題の現状であるが、其の一面は乳幼児を中心とする健民運動から眺める時、戦争の歴史が教へる様な人口問題に及ぼす悲觀的影響は微塵もなく、我が邦の強大なる底力といふものが明に感ぜられるのである。歴史的事實によれば出生率の減少と死亡率の増加とは戦争に附きものゝやうに考へられてゐるが、我が邦の人口増殖力は極めて旺盛であつて、既往の戦争に於ても今次の戦争に於ても殆ど出生率の低下を見ず、僅に一時的なものがあつた丈に過ぎない。それ許りでなく、戦前六箇年の今日等る戦前の數値を凌駕する有様である。又他方乳児死亡率の如きは未だ併てなき一〇パーセントを割つたといふ素晴らしいことである。この一事を以てしても、日本の偉大さは眞に測り知

れないものがある。唐が今後何時迄もこの誇を保持して行かねばならないのであつて、之が爲には多産多育の乳幼児保護といふ様な健民運動を強化して行かねばならぬ。

戦争の爲に必然的に起る問題として、其他労働能力の減少がある。然しこの點も我邦では未だ餘裕があるのである。例へば是非とも婦女子によつて之を補はねばならぬといふやうな必要を夫れ程痛切に感じて居ないからである。之に比べると敵國イギリスの如きは凡ゆる方面に於て女子徴用の必要に迫られてゐる。明かに人的資源の潤滑を物語るものである。抑も婦女子の徴用は出生率に對して無影響ではあり得ない。例へば妊婦の過勞や不衛生は出生率を低下する一方、乳児死亡率をも高めるものである。それは母性保護の趣旨に相



反するからである。この意味から言つて努力不足の補充を婦女子に求めねばならぬことを未だ必要としないうる戦時下の日本の偉大さを誇に思ふ次第である。

められないし、更に學童に就て行つた幾つかの資料を見て、體位の低下は表はれてゐない。之は要するに戦時下と雖も養育資源が必要とされ、確保されてゐる體左

居た時代に、量的に過剰なために起つた養育資源などが夫れである。但し養育資源の制限される戦時下では育兒に無智であつては誤り易い。之が乳幼児保護として育兒知識の普及を必要とする所以である。一方養育資源は過不足なく與へられねばならぬ。然し健康な乳幼児は相當の粗食にも堪へ得られるといふ證明として、最近矢追博士は玄米主食化は乳幼児にも善なく、寧ろ身體的に智能的に好影響を與へるものであ

と擧げた。結局之に依れば病兒や虛弱兒を例外とすれば玄米主食化でも差支へないことになる。要するに以上述べた觀點から乳幼児を對象とする健民運動として、妊婦の保健によつて新産兒が護られ、適當な養育資源の確保によつて乳幼児が護られ、目醒めたる育兒知識によつて保育されれば、戦時下と雖も何等影響されることなく強い第二の國民が作り上げられて行くことが分つて

我等が祖先から繼承した民族の誇を傳へるための、優秀なる子孫はかくて健全な國民として成長する。今、疑つと世界地圖をみつめよ。我等の視野はグツと南の空の果までも擴がるのだ。やがて多くの同胞が彼の地に建設の槌を振ふだらう。だが、それは矢張健康な肉體と精神が必要なのだ。

臺北帝大附屬醫院院長高橋信



（年）少策は如何。私策がないでも、遺憾

策がないでも、遺憾

策がないでも、遺憾

言教授に訊く。南方へ今のやうに深山の人々が出てゆくと前から、私はその地に於ける性病の重大性を痛感してゐる。田園ではマラリアを都市では性病を怖れよ。一果して南方から歸つてくるとも歸つて來る人も、南方に於ける性病への対策の最も喫緊事であることを説く。而かも之に對して何程の考慮が拂はれ、そこに何

程の専門醫が行つて居るか。考へるに心配に堪へないものがある。巷間、南方の病毒は悪性だといふ。同じやうなことは世界の他の土地土地でも云はれてゐるのであるが、云はれてゐるのであるが、

や仕事の都合などが災し、充分に醫治を受けられず、つい無理をする爲に慢性になり、併發症を起したり乃至は増悪したりするのだといふ風に考へたいと思ふ。

乍ら此處では述べられぬが、併し私が何時も公開の席で持出す一つの事だけを今一度繰返して云はう。

落ちてゆくところであるが、つまり飲みやくより、他に我々を樂ませてくれる健全にして優秀な娛樂機關がないから仕方なく「飲みやく」のである。

この重大なる時局下、我々は平時の二倍も三倍も働かねばならぬ事は云ふ迄もない。併しそれだけに充分な肉體の休養と精神の慰安といふ事も「働く」ことに劣らぬ位、大切なことではなからうか。大東亞建設の大事業に邁進する南方の同胞達が出来るだけ永い間、樂しく併かも能率的に働いてゆける爲の方策として、

管である。

# 米英人不在を理由に 溺れゆく邦人を見殺し

明るみに出た英船の鬼畜振り

【大】東亞戦争開始以來、恥辱に狂亂せる敵米英は一切の虚飾をなかり捨て、人々の眼を覆ふが如き鬼畜性を露すところなき露し、我々はニューテリに抑留された幾人かの同胞が、雨撃しの天幕の中に押し込められ瓦の断片に

もられた食事に餘命をつないでると云ふ話を聞いた。いや、そればかりではない。ガダルカナル島の戦線に傷き倒れた皇軍の兵士を無惨にもローラーで擦殺し、へしてゐるのだ。この悪鬼ぶり！ しかも、かうした彼等の獸性は、何も今に始まつたことではない。彼等がこの世に生を享けた既にその時から、悪鬼の血脈は五徳の隅々までも汚濁に染めてゐるのだ。その彼等の獸性を物語る貴重な一葉の寫真が、最近全圖機帆船海運組合聯合會の資料室から発見された。その寫真こそ大東亞戦争勃發より十六年の昔、わが貨物船大福丸が航行中大時化に遭遇

し、發信するS.O.Sの信號を受け現場に赴き乍ら「米英人不在」と云ふ理由のもとに、難波船上に救ひを求め三十八の同胞を無惨にも見殺しにして立去つた英國商船ホメリック號の鬼畜振りを如實に物語るものである。

【一】の米福丸沈没事件は、今から十八年の昔、大正十四年四月の出来事である。

【二】大戦役と云ふ大きな國家的試練に打克つてきた我が帝國は、總ての部門に於て退ましい國家建設に全力を注いでゐたやうに、海運國建設の聲も高く大正七年建造された國際汽船會社所屬の新鋭貨物船米福丸（五八五七噸）も當時船長長井開彦大氏、二等運轉士藤原久吉氏など三十八名の船員に擁護されつゝ小麥を満載して美國ボストン港から獨逸のハンブルグ港に向つて航行を續けてゐたのである。

【三】の否走出来な戻證に狼狽したロバートは前言を顧して、「二三名は認めたらが波瀾が高く駄目だつた」と稱解し、「では何故筏や浮帯を與へる等して正當な處置を講じなかつたのか」と詰問されると、唯一言「米英人不在」と答へたのであつた。その言葉！

【四】は愈々募り風速九米、怒濤は激しく逆巻いた。S.O.Sを受信したホメリック號は直ちに航路を西北西に轉じ、午前十時五十四分、無電に依つて示

された地點に向ひ、前方二哩の地點に米福丸を発見したのである。その時の状況をホメリック號の船長ジョン・ロバートは

「突と飛沫のため視界不良、速力を減じ、米福丸の風上に近づきつゝ油を排出す」と報じてゐる。

だが、それからホメリック號はどう處置したか！その時の事を乗合はせた一法律家ビンセントは次のやうに報じてゐる。

「來一福丸船員十餘名程がブリッジの欄干に掴まつてゐた。彼等はホメリック號からボートを下して呉れるものと豫期してゐたらしく、生存者は狂氣の如く手を振り乍ら梯子を下りかねてゐた。それにも拘らず船長ロバートは冷然と船を米福丸の風下二キロの地點に廻し、午前十二時五十六分、米福丸が全く海中に没す

# 來福丸沈没

# 事件の真相

【大】東亞戦争開始以來、恥辱に狂亂せる敵米英は一切の虚飾をなかり捨て、人々の眼を覆ふが如き鬼畜性を露すところなき露し、我々はニューテリに抑留された幾人かの同胞が、雨撃しの天幕の中に押し込められ瓦の断片に

る迄拱手傍觀に溺れるも一本さへも與へなかつたのである。何と云ふことだ。その暴虐から甚前「明け方迄の七時間、傾きゆく船上に止つて救助船を待ち侘び、しかも救助船とばかり思ひ込んでゐたホメリック號からは筏一つ、オール二つ與へられなかつた邦人船員の時々の氣持！ 思ふに我々日本人の血は逆流するのだ。さうだ！ この氣持こそ米英毀滅の戈を執つて決然起つた大和民族の氣持に外ならない。間もなく、萬策盡き

た船長以下三十八名の船員は悲憤の涙を吞んで、來福丸と共に大西洋の海底深く消えたのである。そしてホメリック號は來福丸の沈没を確めた後正午、何事も無かつた様に現場を離れていつたのである。

【一】が、この鬼畜の如き暴虐がその儘秘められる譯はないのだ。船長ロバートにとつて「一つ不幸なことがあつた。それは、沈み行く來福丸を寫真に撮影して米國へ持歸つた一船客がゐるのだ。その事を知らな

に寄せて事實を暴露した。その寫真こそ最近我國に於て発見された貴重な寫真であつたのである。

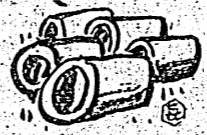
【二】の否走出来な戻證に狼狽したロバートは前言を顧して、「二三名は認めたらが波瀾が高く駄目だつた」と稱解し、「では何故筏や浮帯を與へる等して正當な處置を講じなかつたのか」と詰問されると、唯一言「米英人不在」と答へたのであつた。その言葉！

【三】は愈々募り風速九米、怒濤は激しく逆巻いた。S.O.Sを受信したホメリック號は直ちに航路を西北西に轉じ、午前十時五十四分、無電に依つて示

# 重要資材を塗料で護れ

  
**関西ペイント**  
 台北出張所 台北市泉門町三條一〇八

# 算盤からハンマーへ



## 職業轉換 中小商工業の再編成 本島でも愈よ實施

**企業整備の意圖**

大英軍威の大東亞戰爭の勃發に依り戰爭完遂の爲め急速に戦力の強化擴充を必要とするに至り、これが爲め一億の總力を舉げてこれに當らねばならない。皇國の興廢を決するこの戦ひに勝ち抜く爲めに速かに國內必勝體制を確立し、國民經濟の總力を舉げて戰爭目的に結果しなければならぬ。

支那事變以前の自由主義個人主義的經濟はもう過去のもので自由經濟から今日の決戦下に於ける綜合的計畫統制經濟に移行し、従つて國內諸況の經濟様相も亦相當急ピツチを以て變化したのである。作戦即應の決戦經濟體制の確立に伴ひ、全産業經濟部門の總力を一點に集中動員する爲め不急不要の資材、勞力、資金、動力を急速に戦力増強の緊急超重點産業部門に有

業の整備を敢行することが當面の課題とされてゐる。出来我國の中小商工業は古い歴史を有し、國家存立の一大組織として發達し來たり、産業經濟界に多大の貢獻を爲し、今後もまたその重要な地位は何等變化はないのであるが、全般的國家産業の一大變革期に當り、その事業を確立安定する爲めにも敢て再編成を斷行しなければならぬ。經濟新體制確立要綱には中小企業は之を維持育成す但し其の維持困難なる場合に於ては自主的に整理統合せしめ且其の圓滑なる轉移を助成すと明確に中小商工業の再編成を強調し、更に情報局發表の中小商工業の再編成に職業轉換促進に關する政府の基礎方針には、中小商工業者に対し刻下の國家的要請に即應する積極的協力を求め、職業の轉換を奨励してゐる。

それで戦力の急速増強の爲には何しても企業を整備して明日の總力戦に備へねばならない。企業整備の必然的要請に對し政府では既に國家總動員法に基く企業許可令と企業整備令を公布實施し、斷乎たる經濟再編成の完成を期し、企業整備促進の礎石として企業各分野に互り重點的に廣汎な企業整備を斷行したが、政府では中央に即應して中小商工業の再編成並に配給機構の整備を行ふ必要があるので、轉廢業者の生活安定に重點を置いて各般の施策を講じ、中小商工業再編成の適正、企業整備統合の両全を期する爲め、中央並に地方に中小商工業再編成協力會と轉廢業者共助會を夫々結成して轉廢業を圓滑に行はしめることになつた。

### 中小商工業再編成協力會の組織と性格

中小商工業再編成に關する官廳の施策に協力し、之

が適正且迅速なる實施促進を圖る臺灣中小商工業再編成協力會(中央)では其の目的を達する爲め左の事業を行ふこととなり

- 一、企業の整備に關する官廳の諮問に對する答申
- 二、企業の整備統合に關する實施方針の樹立
- 三、共助施設の整備に關する事項
- 四、職業轉換の指導斡旋に關する事項
- 五、其の他中小商工業再編成の促進に關する事項

州廳中小商工業再編成協力會(地方)では

- 一、企業の整備に關する官廳の諮問に對する答申
- 二、整理候補店舗又は工場を選定に關する事項
- 三、新企業體の整備に關する事項
- 四、轉廢業者の選定に關する事項

以上五、殘存店舗の再配置に關する事項

- 六、共助團體に對する協力を關する事項
- 七、職業轉換の指導斡旋に關する事項
- 八、職業轉換所入所者の選定に關する事項
- 九、其の他中小商工業再編成の實施に關する事項

該重要事項を審議する。本會は企業整備計畫を樹立し實施する官民渾然一體の決戦的協力機關且つ官廳の諮問機關たる共に中小商工業再編成の推進活動體であり、官廳の外圍團體たる性格を有してゐる。

### 中小商工業轉廢業者共助會の組織と性格

中小商工業轉廢業者共助會は企業整備計畫に協力し、官廳の施策に協力すると共に相互扶助の精神に立脚する共助施設の圓滑なる實施を圖る公益目的の社團法人たる中小商工業轉廢業者共助會は、地方に臺灣轉廢業者共助會を結成し、臺灣共助會は各州廳共助會、全島單位商工業者組合、全島の産業統制會社を以て組織し、州廳共助會は地方單位商工業者組合、地方的産業統制會社を以て構成する。臺灣共助會はその

食慾不振に 消化不良に

## クカチアスターゼ

クカチアスターゼは一般局方クカチアスターゼとその組成を異にし、澱粉糖化力の著しく強大なるは勿論、麥芽、蛋白質、ペプトン、脂肪、纖維素、其他塩類分解酵素等數種を含有す

(總) 30錠 5.40 (宋) 14錠 3.85 (その他大買入) 各地區を缺く

純良 藥品

東京・日本橋・區町 三共株式會社 台北市 臺灣三共株式會社



# 産業奉公会

## 生産増強に備へ

### 産業人の自主團體設立

加藤嘉久二

労働事務局 労働課長

「いよいよ産業奉公会ができてきた。これで、労働團體の統合もできて一段落といふところか」

「一段落といふ話云つてはいけない。仕事はこれからだ。それに労働團體の統合なんか真ツ向から云ひ出すなんて産業奉公会の設立趣旨の認識不足も甚しい。」

「さう怒るな。こゝろは新聞に産業奉公会、つまり産業奉公会と「労働関係外團體」は一切消滅スルモノト云と出てきたから一寸、裏から見て見たらどうか、この點は」とはどうかだ。これは、

経費がついて皆國庫の補助金で賄ふやうになつてゐた。實際は團體の中に数へるものは少くをかしい次第だ。」

「どうして、そんなことが必要だったのだから」

「この頃になると臺灣産業もウツと活況を呈してきて、臺灣工業化も通貨緊縮時代にぐらゐると驚くべき躍進を示した。それに臺灣の軍事的國防的地位の重要性は素人にもわかる程はつきりして来た。一般労働者の需要の増加は云ふ迄もないが、土産、鑛業の労働の需要はウツと増して来た。ところが臺灣には労働を主管する官廳がない。その頃ある海軍の人が労働の問題で總督府を訪ねたところ、労働行政の窓口がなくて面喰つたといふ笑ひ話すら残つてゐた。」

「それで、應急の措置として官廳代行機構をつくり、労働の調整とか供出をやつたといふ話がある。その他の労働團體には何かあるのか」

「ところがだ。労働問題は益々重要になつてくる。しかも、労働行政の円滑な遂行には、どうしても、特に工業、鑛業関係産業人の自主的な協力が必要になつてくる。そこで労働協力會とか労働協會賛助會とか労働報國協力會とかいふものが各州独自の企畫でできた。州廳によつては名稱は労働協會で、而も産業人を會員とする團體さへできて来た。」

「それは會員の範圍や會費の額、各州廳まちまちだから、仕事はどんなことをやつたのかね」

「まあ、大體、労働協會の仕事もとりあけてやるが、他方産業奉公運動にも手をひろげてゐたやうだ。」

「産業奉公運動にもね。さうすると農民奉公會の産業奉公運動とはどう云ふ關係にあつたのかね」

「たしかに國屋だ一調和點を見つけたため色々理論的な説明も試みられたが、

「スル事項」を並べてゐるのと同じ趣旨に基くものといつていだらう」

「わかつた。わかつた。それでこんど従来の労働協會の事業と、農民奉公會の産業奉公運動を一元的に實施するための産業奉公會をつくり農民奉公會の傘下で運営するんだね」

「さうだ。従来の労働協外團體の統合は産業奉公會設立の趣旨から考へれば次の次だ。今は決戦期だ。生産増強をウツと頑張らなければならぬ。島外からは臺灣の労働給源に目をつけてくるし、どうしてもかう云ふ趣旨の産業人の自主的團體が必要だよ。」

「成程ね、さうだ。」「新建設」誌一巻の二號の座談會記事で、高橋主計課長が「内地のやうに産業報國運動が發達しないため、臺灣の労働者は本當に御國の爲に働くといふ氣分が足りないと思はれる。従つて産業奉公會と云はれてゐるに産業奉公會の組織を教へてくれよ。」

「まづ州廳に州廳産業奉公會をつくる、これは州廳

管下の原則として當時十人以上の労働者を使用する鑛業、工業、運輸通信業、農林業の事業主、労働供給業者及び所属労働者を使用し、作業の請負を爲すを業とする者を會員とするにまつてゐる。州廳産業奉公會を會員として、臺灣産業奉公會が市郡に支部を置くやうになつてゐる。尚州廳産業奉公會は市郡に支部を置くやうになつてゐる。」

「さうすると労働者一人一人は會員ではないが、内地の産業報國會とは大體違ふ。産業奉公會にする點が一寸解せない。尤も臺灣の労働報國會では産業奉公會だといふことを聞いたとはあるが」

「こちらこそ君の云ふことが解せないね。事業主だつて労働者だよ。事業一家の戸主として事業主を率直に捉へたよ」

「さうすると事業一家には労働者も入るのか」

「勿論だ。」「は、あ、事務職員を入れる。ここではドイツの労働協会の命令

「おだてるな、ひとつその事業を教へてくれよ。」

「ちや、この「労働協力機關整備補充方策要綱」を讀むから聞き給へ。その目的からいへば、産業奉公會

「ところがだ。労働問題は益々重要になつてくる。しかも、労働行政の円滑な遂行には、どうしても、特に工業、鑛業関係産業人の自主的な協力が必要になつてくる。そこで労働協力會とか労働協會賛助會とか労働報國協力會とかいふものが各州独自の企畫でできた。州廳によつては名稱は労働協會で、而も産業人を會員とする團體さへできて来た。」

「それは會員の範圍や會費の額、各州廳まちまちだから、仕事はどんなことをやつたのかね」

「まあ、大體、労働協會の仕事もとりあけてやるが、他方産業奉公運動にも手をひろげてゐたやうだ。」

「産業奉公運動にもね。さうすると農民奉公會の産業奉公運動とはどう云ふ關係にあつたのかね」

「たしかに國屋だ一調和點を見つけたため色々理論的な説明も試みられたが、



# 臺灣農村を見学する

倉庫と大木と庄家を立てたい

津田光造

私は内地の農村に生れ、農行で育ち、承継農行運動をやつて来て居るので、内地の農村の事は多少心得て居る積りだが、本島の農村に接したのは今度初めてだ。それだけに、内地の農村を見て来た眼で、本島の農村を見ると、その異ひ方が著しく眼立つ。その眼に留いた所をさつと指し留けてみることにしよう。

## 舗装道路の發達して居る事

よくもこんなに、全島到處舗装道路が出来たものと思ふ。内地の農村などは、お膝元の神奈川縣あたりでさえこんなに道路は良くなくて居ない。本島の農民は、

## 正條密植が勵行されて居る事

あゝ、やつてる。この水田も、全島一體正條密植が完全に勵行され

て居る。之は勿論、内地の農村では、ずっと以前から行はれて居た事ではあるが、本島の水田がこんなにまで立派に行はれて居るとは、全く夢にも思はなかつた。實に觀たゞげでも美しく清々しく氣持が好い。人の眼を喜ばせるだけでも大した功德であると思ふ。植えた人達は尙更氣持が好いに相違ない。事實又、之れなら草を取るにも刈り取るにも、どんなにか仕事が出来て居るであらうし、收穫も多であらう。増産の國策にも副ふ所以である。

## 膝をついて田の草を取る事

之は又異様な風景である。内地では膝をついて田の草を取つて居る所など見た事がない。内地の様に土を深く耕さぬからだといふ事が分つた。漸く五寸位の深さにしかならぬらしい。それで相當な收穫が得るのださうだから驚いた。而も二期一回は取れるといふのだから、いかに本島の農業が内地と較べて天候に恵まれて居るのかといふ事が分る。内地だつたら五寸位の深さにしかならぬ。膝をつきなから田の草など取つて居たら情態だと云つて笑はれる。まづ二人前の百姓の仲間に入られぬ。第一堆肥を入れる事が出来ない。堆肥を入れずに田を作る様子は、百姓は、收穫がないばかりではなく、土を枯らす掠奪農業だと云つて、百姓の面目を失ふほどの恥ぢとして

## 穀類貯蔵の倉庫がない事

之は深く耕し堆肥を多く入れる事と密接不離の關係があると思ふが、本島の農村には、どの農家を見ても、穀類を貯蔵する倉庫らしい建物が一向に見當らなかつた。尤も之は本島だけ

の事ではなく、朝鮮や滿洲の農村を見た時もさうであつた。之は農村としては實に大きな農政上の問題に觸れて来るので、話がこみいづて来たが、とにかく、内地の農村と較べて、農家に倉庫がないといふ事は非常に淋しかつた。内地の農村では、農家が倉庫を建て、その爲に人一倍勤勉し節約し貯蓄する氣になるから、自然に倉庫も多く建つやうになるのだと思ふのだが、本島の農家にはどうしてさういふ氣風が起らぬのだからか。之は要するに爲政者の仕向け方が悪いのと、街庄の棟梁たる者の指導力の缺陷と、概して無慈悲なる清朝時代の悪政が永い間積いた結果だらうと思はれる。多く生産して多く貯蔵すればするほど、それだけ餘計に取り上げられてしまふといふ事になると、成るほど農民の方では、多く生



産しても、物で貯へて持つて居ようといふ氣にならず形を替へ金にして匿して持つて居ようといふ氣になる。それで倉庫の必要がなくなるのであらう。が併し之は、國として農村とし

て考へなければならぬ問題だと思ふ。昔は日本でも支那でも、國にして三年の貯へなければ、その國に非すと云つたものだ。その眞理には今日と雖も微動だも狂ひはないと思ふ。農家がその生産物を物の儘で貯へようとせず、金に替へて持つて居ようとする事は非常に危険な事である。金さへ持つて居たら何でも買へると思つて居たら、應である。今度の大東亞戦争で

## もつと大きな木がほしい事

深い山の中へ行つたら、森林が有つて、もつと大きな木が繁つて居る事と思ふが、これらの農村には、平地は矢張り氣候の所爲かと思ふが、内地の農村で見ると、樹や棒の良材大木が、もつと到る所に繁茂して居る筈であつた。少くとも臺灣は内地よりも熱い所だから、それだけ内地の農村よりもより大きな木が深山に有つていゝ筈だ。それが却つてあへてあつたのは、少なからず豫想を裏切られ、少し心細い氣がした。朝鮮や滿洲などはもつと酷

く荒山ばかりで、淋しいといふよりも、何だか悲しがつた。私は此の亡國九出しといつた殺風景に打たれて考へさせられた。それを私は人民の所爲だとは思へなかつた。幾千年の永い間の暴政請求の税政悪政のおかげだらうと思つた。之は本島指導の責に任じて居る内地人の猛省一番せねばならぬ所だと思ふ。家を建てたりする爲に、木を伐る事は差し支へないが、伐つたの何故跡へ苗木を植ゑないのかといふ事だ。成るほど考へてみると、苗木を植ゑるといふ事は、何の造作もない事の様だが、杉とか松とか柏とかいふ良材になると、一年や二年でもものにならぬものではない。少くとも三十年五十年の後を待たねばならぬ。つまり、それは自分一代の爲ではなく、子孫の爲といふ精神がなければ、植ゑられるものではない。人間誰れでも子孫の



爲を念はない者はあるまいと思ふが、永い間、政政が續いて、戦亂の絶え間がなかつたり、悪性の土着の神に虐められてばかり居たりすると、農民の土着安住の觀念が薄らいでしまふ。何時強權者に追ひ立てられるか分らないといふ不安がある。木は伐りつ放して、苗木を植ゑて三十年五十年の末を樂むといふ氣になれないだらう。内地の農村に大きな木が澤山有るのは、海に天地の恩恵——萬世一系の皇室の仁慈極りなき大御親威の賜物であると、泌々有り難く、尊く感じられるのだつた。

### 寺廟を神社化する事

農村に大きな木のないも一つの大きな原因は、此の島の農村には、内地の農村で見られる神社といふものがない爲だらうと思ふ。内地の神社といふものは、

天神地祇乃至祖先の靈魂の神鎮り坐す齋場である。隨つてその聖域内には、神の如く常磐にして樹齡なる樹齡神しき神木を植ゑるのである。杉とか松とか檜とかいふ木が、内地において神木と崇められ、神社の境内に植ゑられてあるのは此の故である。杉とか松とか檜とかは、皆常磐にして樹齡能く久しきに堪へ、人間よりも壽命が長く、直く高く強く天に伸び、湿しく繁茂して大木と成る。その大木と成るに及んで倍々威嚴を具へて神々しく成る。吾等の祖先が是等の樹に、貴くも神靈の籠り坐すものと觀たのは、寔に故有りといふはねばならん。かくも吾等の祖先は、神社と共に樹といふものを尊敬し、大切にした。それだから自然、神社と共に大木が保存される事に相成つたのである。而してそれが内地の農村に

特絶壯嚴なる風格を添へ、吾等をして愛敬祖の念を随つて愛國尊皇の精神を深からしめて居るのである。神社をはじめとして、内地の家屋が本島のそれの如く、土石を多く用ゐずして、杉松檜を以て建築されるに至つたのも、愛敬祖の精神の然らしむる所である。此の點、本島の人々に、尤も内地農村の風格に學んでもらひたいものがあると思ふ。内地の神社に比すべき寺廟といふものが、各街庄に在るのを見たが、あれには境内といふものがない。従つてそこには神木といふ大きな木もない。人家と附きすぎで居る。莊嚴な聖域といふ感じが、少し有つてほしい。神様と人間とが仲よく一緒に居るやうな感じが、本島人には親しみがあつて、好いのかも知れないが、それでは矢張り聖平等に墮して、神と人との名分が立たなくな

る。神様が全體を鎮守つてござらぬといふ感じが出ない神と人との生命的な親しさを結ばれながら、そこに何とはなしに幽遠な、床しく、嚴めじく奥深いものがない。崇敬の念が起らない。寺廟の中に祀られてある神様は、農業民族に共通した天地自然の神々、土地公、社殿、祖先又は偉人の神靈等で、之が不都合といふほどのものもない様だが、それらの神々は皆天照大御神に歸し奉つて居るといふ姿勢に立て直す必要があるから、本島の人々は、滿洲國皇帝陛下が、畏くも率先御垂範あらせられた様に、民族大本の大御親神として、宗廟祭壇の中心に、天照大御神様の天麻を齋き祀るがよい。支那民族の不幸は、大家族制度に止まつて居てその大家族が更に一つの大きな中心に統合される「共同の大御親神」を持たない所に在るのだといふ事を、

### 祖先崇拜の信仰を長養する事

住宅の建築まで内地と一體化する事は、俄には困難であらうが、祖先崇拜の信仰においては、内装一味相通するものがあると思ふ。祖先崇拜は家族制度の中心を成すものであるから、祖先崇拜と家族制度とは一體不可分なものである。その點は内地農村と全く變りはない。併し、「家」の内容においては、著しい相異が見出される。純粹な神ながらの内地農村の「家」においては、全く祖宗中心であり、

その繼承者たる家長中心であつてそこには徹頭も個人主義的なもの、介在を許さない。祖宗を中心として、之に「仕へ奉る」といふ事が上は畏くも皇室より、下は庶民に至るまで、絕對に遵奉すべき道義とされて居るのだから、是の道義に背く事は容認されないのである。各家々の祖先は、民族共同の大御親神にまします天照大御神乃至一系天皇に忠誠奉仕して来た者であり、家長はその祖先に忠誠奉仕して、祖先の名を恥かしめざらん事を念願し、その家族は皆忠誠で家長に奉仕する事を本意とする。そこが同じ祖先崇拜に依る家族制度と謂つても、本島のそれには、多分に個人主義的なものが混入して居ると思ふ。例へば遺産相続の場合など、財産均分制度が行はれて居る様だが、それは個人主義であつて、内地農村では、西洋の個人主義的法

律制度(權利義務の體制)を多分に取り容れた今日では、さういふ個人主義は認められて居ない。その家族制度において、個人主義を容認しないのは、そこに神ながらなる「道義の柱」が立つて居るからである。畏くも上皇は道義の中心にまします。その尊き御垂範のまに、下萬民皆道義を立て、之にまつる。以て君臣一體の美風を作して居るのである。故に一家の家長は一家全財産の所有者であるばかりでなく、一家道義の中心として、家族の全生命の安全幸福繁榮を保障する全責任を負つて居るのである。之が内地農村の家族生活における「親父」なもの、存在意義である。尤もこの形態は、軌道、米英個人主義の浸潤に依つて可なり紊されて居る家も在るには在るが、その本質においては變りはない。本島

の人々はその内地の家族生活の純粹なものを、之を規範とせねばならぬ。之にかつお互ひは米英は敵だといふ事を寸時も忘れず、統後において個人主義を克服すべく、思想戦を戦ひ抜かねばならぬ。そして此の思想戦を勝ち抜く爲に、本島の人達に一つの重要な建設事項を提案したい。それは「庄家」といふものを農村の中に貫く厳しく盛り立てる事である。

### 庄家の存在を再認する事

内地の農村へ行くと、この部落にも、これまで段階述べて来た様な氏神様や産土神様(之は本島の土地公又は社殿に當る)の社が在る。松柏の大木に圍繞された社が在る。村の子供等は年中その社へ遊びに行くから、昔その社の松柏とも親しくなる。大きくなつて故郷を後にする時も、又

故郷へ立ち歸る時も、先づ何よりも懐しまれるのは、此の社の社である。そこに昔からの床しい風格を具へ、亭々として綠をたへた松柏がある。おやわが故郷よといふ感じが心の底から湧き出るのは、此のなつかしい松柏の老木の姿からである。それと同じ生命間的な親しみを以て、嚴めしく亦も慕はしく懐しまれるのは、古色蒼然として、つしりと土に落着いて居る草葺の庄家の構へである。その屋敷内には必ず白壁の土蔵があり福徳莊嚴の相を成して居る。それは得も言はれぬ芽出度も亦嬉しく嚴めしい構へである。それは人間の住む社といふ感じのものである。かう云つても土着神の存在だけしか知らない本島の人達にはピンタリと来ないかも知れないが、内地人なら至極同感するであらうと思ふ。尤も懐

近米英の唯物的な文物思想に垂された金儲けの氣持や社會主義の階級意識といふ色眼鏡で見たり、内地人でも、いきなり「この地主め」とか「搾取的存在か」といふ様な、寧ろ憎しみの感情しか出ないかも知れないが、さういふ感情を起したとすれば、それは崇高にして雄渾なる皇國祖先の傳統に目醒めない所の、いかに非日本的に歪曲された感情であるかといふ事を、深刻に反省する必要がある。そして自らの淺ましさに恥ぢる所がなければならぬと思ふ。それからでないか、今日、米英に對する思想戦と謂つてみた所で、それは砂上の樓閣、言葉の遊戯みたいなもので、地に着いて来ないだらう。皇國祖先の傳統に依る神ながらの庄家の風格は、皇國體の神髓たる道義の活ける柱たる所に在る。(三三頁に収)



# 部落祭りの経験

七星郡外雙溪部落

楊雲萍

(1) わが七星郡外雙溪部落は、昭和十七年度九州指定振興部落として指定されたのであるが、指定を受けた後、いろいろな実行計画を立てた。ここでは我々が実行した部落祭りに就いて、少くも、現在、部落に於いて最も問題とされて居る農村振興の問題に關して、我々の参考までに、最初の経験であり、且つ実行する者の失敗と経験その他の關係を成功などといへるものではなく、むしろその不成功なることを参考として頂ければ幸ひである。

部落祭りと十七年度指定振興計画書の中に、「部落祭りの項として左の如くある。

一、部落祭りの期日（例へば春秋兩季、農閑期）ヲ選ビ、二、同位部祭りの開演、祭式後、運動會、學藝會、映畫會、演劇會等ヲ行ヒ、以テ、庶幾無味ナル農村生活ニ一服ノ榮シキ和カナル空氣ヲ注入セントス、從來ノ祭典日ニ於ケル親戚朋友知人ノ招待ノ如キモノハ、ニナスヤウニ限セントス。

此の計畫に従つて、我々は第一の「部落祭り」を同年の新春祭の日、即ち十一月二十三日に實行することにしたのである。

一月十日から我々は實行委員を設け、各係の責任者を選出し、

して準備に取りかゝつた。具體的内容の重なるものは左の如し

一、農事感謝祭  
二、農産物小品評會  
三、農産物小品展覧會  
四、農産物小品義賣會  
五、農産物小品抽籤會  
六、農産物小品抽籤會  
七、農産物小品抽籤會  
八、農産物小品抽籤會

の職員及び有志より選出して、奉行人をやる。士林街の演劇舞身隊の懸垂出演を依頼すること。

本、小宴會  
三、小宴會  
四、小宴會  
五、小宴會  
六、小宴會  
七、小宴會  
八、小宴會

昭和十七年十月に出来た「外

約の見地から、一つ「甘藷を主として料理を出さう。甘藷も自分の家の餘りから料理の仕方でも相當習し、食べられると主張した。ところがこれが大部分の實行委員たちの反對を受けたので

る重畳さは、多くの民族學者の感歎所であるが、その重要さが今日に於ても見受けられるのである。大體に言ふと、自分は「學問」と現世の深い關係を見たやうな気がしたのである。そこで自分は、自分の主張を撤回した。言ふまでもなく、こゝで此の事を記したのは、事實として、在りの問題として記したのである。此の亦に對する批判は自ら別問題であらねばならない。

があると思ふ。「唱歌や」「談話」が少しづつ入ると所謂「演藝」となり、「演藝」が少くも簡単に「唱歌」になり、「談話」なるのである。これは、農村演藝指導の専門家の高教を承はり、たいとある。また、多くの部落民の父兄は、自分の子弟が何か振舞つて舞臺に出た、これらもよく考へさせられた。試みに當日の夜間のフロッサムを示めよう。

一、遊藝「キトン、バツタン」  
二、談話「金太郎、學友團兒童」  
三、唱歌「金太郎、學友團兒童」  
四、演劇「ルガン」梅沢氏月曜  
五、會話「バスの中」  
六、喜劇「田舎者」男子青年團員  
七、舞踊「支那の夜」女子青年團員  
八、踊り「四年踊」

第五の「小宴會」も予定どおり行はれた。只、これに就いて筆者は大失敗を演ずるところであった。最初、自分は「甘藷及び物販

ある。此の人たちは、そんな失敗な事が出来るか、町や村からいらつしやる方に、甘藷を出す如きはあまりにも無禮だといふのである。その反對よりも、反對の態度の真逆に、自分は

以上、我が外雙溪部落に於ける小さな経験に就いて、筆者は所謂「演藝指導」の専門家ではない。又農村指導の亦に就いても知らぬところ甚だしいのである。記したところ、シートのはつれた點が多かるべく、専門家を位の間諒と叱正を乞ひたいと思ふ。

## 決戦標語發表

元氣に働き振舞ひ、貯蓄を増進せよ等の武器だ  
貯蓄と増進せよ等の武器だ  
貯蓄と増進せよ等の武器だ  
貯蓄と増進せよ等の武器だ

定規集募  
O内容、決戦生活の切切  
切、毎日五百〇用紙官  
紙、毎日五百〇用紙官  
紙、毎日五百〇用紙官

向、わが部落の一般に就いては「部落地方行政の五月號に少し詳細に載るところあらんと思つて居る。御参照をねがはす。四月二十日、習習樓

高権指導部落  
臨時下  
臨時下  
臨時下  
臨時下

# 北門郡の奉公運動

## 新興北門郡の奉公運動

鹽分地帯を克服して

北門郡の地帯は、かつては「海軍の門」が占めていたと云はれるが、この地帯にその鹽分を多量に含んだ、おとそ農作物の生育に支障をきたすという、最も悪い條件にある土地である。

従つて北門郡の農民は、たゞ土を耕して種子を播けば、それが成育すると云つた様なそんな生活が、やさしい土地ではない。それ以前に大地に水を注ぎ込み、幾何となく鹽分を洗い出し、乏しい人力の限りを盡して廣大な土地の土質を改良し、長い年月をかけて一日一日と目に見えない、僅かな耕地を擴張して行くのである。

南佳里間を流れる曾文溪に君が代橋が架かると、バスが通じ、交通の便がよくなると共に、一方各所に木麻黄の防風林が造成され、ますます耕地が擴張強化されて以後のことである。

しかし實らぬ土地は、多年の間、農民の氣を挫き、上戸に北門郡民は勤勞素朴、上手なことは云へないが、たくましい實踐力を持つてゐる。曾文溪に北門郡民の苦力を指して呼ばれたのであるが、それほど北門郡民は他郡に劣らぬ力を持つてゐる。

佳里間にある北門郡役所に五藤郡守を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。

北門郡の指導者太田龍氏を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。

佳里間にある北門郡役所に五藤郡守を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。

北門郡の指導者太田龍氏を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。

## 部落即道場

北門郡の指導者太田龍氏を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。



氏三洋田廣

北門郡の指導者太田龍氏を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。

北門郡の指導者太田龍氏を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。

北門郡の指導者太田龍氏を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。

北門郡の指導者太田龍氏を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。

北門郡の指導者太田龍氏を助けて刺を通した時、その日の午前中郡下の奉公壯年團を動員して北門郡民の苦勞を慰行を施した後だと云ひ、五藤郡守は郡下の奉公壯年の意氣ますます盛んとなり、そればかりでなく、近頃は佳里間に植植俱樂部も組織され、又若き指導者太田龍氏がその團に當り、甲申に國民學校の建設を完成して、青年道場を建設中とのことであつた。







外皮が破れて来ます。差し水を... 差し水を... 差し水を...

米立報國

米立について、各方面でいろいろの研究、検討が行はれ、今日では...

夏によい湯炊き法、それから文、これからはだんだん...

新刊紙の用法



「その一」壁の隅に食ひ破れたり、一冊紙などを貼りまして、だんだん...



「瞬間の轉換」の「瞬間の轉換」の「瞬間の轉換」...

大日本婦人運動

○決議 婦人運動の発展に於ける昭和十八年度運動大綱の確立...

大分開

△四月四日 美術園遊結成に關する座談會を本會會議室に於て開催...

奉公社

△四月十九日 奉公社創立一周年記念祝賀會を本會會議室に於て開催...

文化部

△三月十七日 三小協會、日本藝術協會共催、本會後援を以て、茨北市公會堂に於て藝能座談會開催...

### 訓練部

△三月十五日  
十八日、拓南農林部第二期講習  
訓練所第一期講習  
期生の修業を各州  
農務課に任す。  
農務課は全島百名の  
内、二百二十五名  
の農務課員は四百五十名の  
農務課員より四十八名を夫々合  
格入所せしめられた。  
△三月二十五日、三十一日  
全島在住者にして専門學校、大  
學卒業の有産者である青年壯  
年講習會を開催した。昨前行  
事、旅行、勤務等より心身の  
鍛成をなし、事務局長始め各参  
事及支部等の講話、座談等にて  
思想の鍛成をなし、地域農務に  
よる奉公運動へ挺身する熱意を  
新にした。

### 臺大

人口六百萬を突破  
臺灣の人口は、今  
まで「六百萬」と呼ば  
れ、六百萬の臺灣「  
家」といふ風にもな  
れて来たが、この大衆も、國家  
の強弱に關して感に達し且種  
して來た爲昭和十七年度末の調  
査によると、いつの間にか殖え  
も殖えたり總人口六百四十何萬  
何千人、そこで精悍、豪傑一家の  
家族は現在では六百五十何千人

### 傳宣部

○聯多邊展覽會  
戦日本を  
投擲によつて表現  
しようとして五月七日  
から十日まで四日  
間、台北市公會堂に  
於て「聯多邊展覽會」  
を開催する  
ことになった。作品は、本島各  
地よりの新進畫家の出品によ  
るものであるが、外に東京の漫  
畫家二十數名よりの作品も展覧  
されることになつてゐる。

### 生活部

○三月二十七日、支米食に關する普及座談會を本  
部會堂で開催。  
給米食糧局總務課  
長より現下の食糧  
情勢に付いて説明  
あり、又藤本技手  
の炊飯に關する實験報告、學者  
側より保健營養の指導に付いて  
説明あり午後五時終了。  
○近く行れる百軒競歩大會に  
關して三月三十一日、臺灣體育協  
會(對傳、臺灣山岳會)伊藤、  
谷河、趣味登山會(中村、星野)  
萬華登山會(山口)等の諸氏が参  
集、本部側から安川、伊藤その他  
體の方策に關する打合せを行つ  
た。  
○四月十五日、厚生委員丸山、  
施江南、森田、藤田の參集を求め、  
本部側より坂本書記出席し、十  
六日開催の全島主事會議に指示  
すべき諸問題を打合せた。

### 奉公會人事

- 本部  
三三二 參事 藤田 喜  
三三三 參事 加藤 重  
三三四 參事 小澤 太郎  
三三五 參事 佐々木 保太郎  
三三六 參事 立川 龍  
三三七 參事 谷川 國  
三三八 參事 安田 金  
三三九 參事 同  
三四〇 參事 同  
三四一 參事 同  
三四二 參事 同  
三四三 參事 同  
三四四 參事 同  
三四五 參事 同  
三四六 參事 同  
三四七 參事 同  
三四八 參事 同  
三四九 參事 同  
三五十 參事 同  
三五一 參事 同  
三五二 參事 同  
三五三 參事 同  
三五四 參事 同  
三五五 參事 同  
三五六 參事 同  
三五七 參事 同  
三五八 參事 同  
三五九 參事 同  
三六〇 參事 同

所行發	新設部 第八號
皇民奉公會中央本部 台北市文武町一三 電話九二一七	定額 十五圓(金) 半年 九圓(金) 一年 一圓八十圓(金) 昭和十八年五月四日開始 昭和十八年五月六日發行 發行所 大澤 貞吉 印刷所 臺灣日日新報社 台北市中山路一八 電話九二一七



# 三和銀行

雄高・南台 北台

所々館十三百二國全 所張出店支 市阪大 店本

# 朝日上海火災

社會定指扱取險保爭戰

營業課目

海上保險

火災保險

運送保險

本店 大阪北濱  
支店 岡崎 長會役總取  
支店 井坂 長社役總取  
支店 台北市山樺一五

# 化膿症

## テラポルー錠

創傷化膿 丹毒 腫瘍 歯槽膿瘍 中耳炎 扁桃腺炎

○内服により深く病巣に透達し、各種化膿菌の發育を阻止して病状の悪化を防ぎつゝ最も短期間に治癒せしむる高純度の「第一」フェニチンアミド州のその効果は多数醫家の實驗報告により立証せらる





第一製藥株式會社


(第二巻第五號) 毎月一回一日發行 第一十五卷

## 國民貯蓄の最高峰

人口政策協力  
100%の純利益

軍事支援  
直接入管者への  
恒獎金

戦時經濟協力  
インフレ抑制  
生産資金供出



年五十四公奉

# 第一徴兵

一ノ四町京市北白・郵支

